

創立43年



# 本町小だより

令和7年度1月号 令和8年1月8日（木）発行

和光市立本町小学校

TEL 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

児童数 340名

## 世界の宝物から学ぶ「違いを認め合う心」

校長 木村 美香

保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。

さて、3学期が始まりました。冬休みを終え、学校に元気な笑顔が戻ってまいりました。3学期は、次の学年への大切な準備期間です。子どもたちがこの期間に大きく成長できるよう、教職員一同、全力で指導にあたってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 世界の「違い」から学ぶ大切な心

新年の始まりにあたり、今回は「国際理解」と「多様性を認め合う心」について考えてみたいと思います。

私たちが当たり前のように迎える「お正月」も、世界には様々な形があります。

- 中国の「春節（しゅんせつ）」は、爆竹（ばくちく）を鳴らすにぎやかなお祭りです。
- タイの「ソンクラーン」は、4月に行われる水かけ祭りです。
- 欧米の多くの国では、静かに過ごす日本とは違い、年越しの瞬間を盛大なパーティーや花火で祝います。

どれが正しくて、どれが間違っているということはありません。それぞれの国に、大切にされてきた文化や歴史があります。

本町小学校の玄関には、これまで世界の様々な国にゆかりのある方からいただいた、美しい工芸品や民芸品がたくさん飾られています。

この玄関ホールの展示物は、その国の人々が大切にしている文化や歴史が詰まった「宝物」です。

あの宝物を見るたびに、そして世界のお正月の「違い」を知るたびに、子どもたちにも考えてほしいことがあります。それは、「違いを認め合う心」です。

和光市にも、外国にルーツを持つお友達や地域の方がたくさん暮らしています。私たちは、自分たちとは違う文化や習慣を持つ人たちと、どのように関わっていけばよいでしょうか。

「どうして違うんだろう？」と興味を持つてみることに。

「あなたの国ではどうするの？」と尋ねて、相手の文化を尊重すること。

この「違いを認め合う心」こそが、豊かな人間関係を築き、新しい世界を広げる鍵となります。

3学期は、世界の文化に目を向けながら、友達一人ひとりの「違い」も大切にできる、心豊かな本町小学校の児童に育ててほしいと強く願っています。

玄関ホールには、世界の新年を紹介したパネルもしばらく展示してあります。ぜひ、保護者の皆さん、地域の皆さんもこの機会にご覧ください。